

目次

モニタリングの使用	1
イベントログ	1
リアルタイムログ	2
デバイスの状態	2
出入口の状態	3
エリア状態	4
警報履歴	5

モニタリングの使用

モニタリングでは、各イベントの範疇をより容易に感知して把握できるよう、様々なモニタリングの種類をサポートします。

イベントログで過去のイベントを素早く簡単に検索できます。簡単に検索して、選択したイベントを表示するには、フィルターを設定し保存してください。

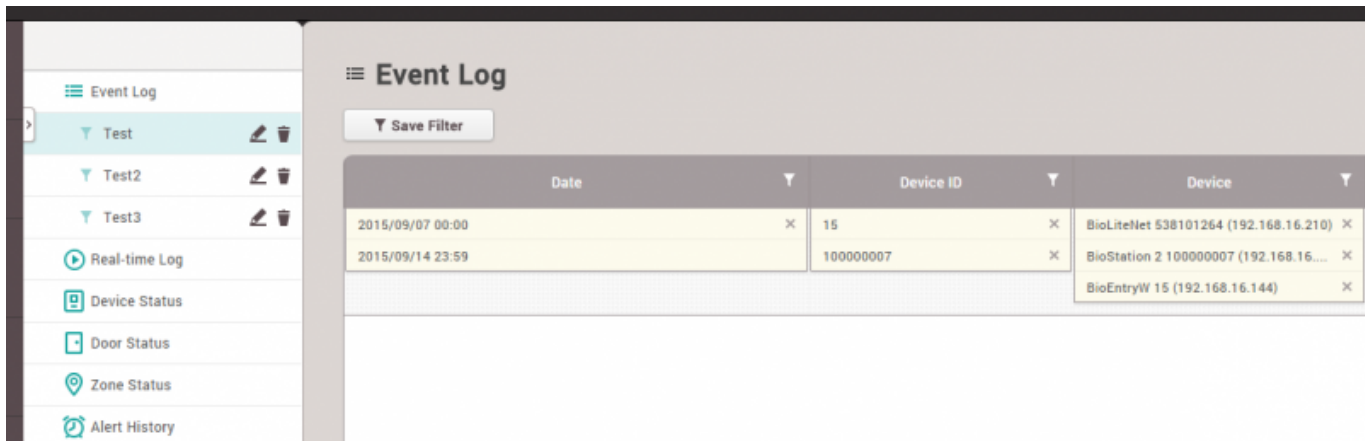
イベントログ

すべてのイベントが一覧表示されますが、自動的に更新されないため、新しいイベントを表示するにはページの再読み込みが必要です。

1. 各列にあるロート型のアイコンをクリックした後、フィルタリングおよび検索するイベントの種類を選択してください。

Date	Device ID	Device	User	Event
2015/09/07 00:00	15	BioLitellet 538101264 (192.168.16.210)	123456789(Jason)	
2015/09/14 23:59		BioStation 2 100000007 (192.168.16...)	2(-)	
		BioEntryW 15 (192.168.16.144)	3(-)	
2015/09/11 16:05:20	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	3(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:05:15	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:05:09	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	123456789(Jason)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:05:05	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	3(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:04:54	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:57	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	123456789(Jason)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:51	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:48	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:45	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	3(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:41	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	123456789(Jason)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:30	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:17	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:14	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	2(-)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:11	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	123456789(Jason)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT
2015/09/11 16:03:09	15	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	123456789(Jason)	IDENTIFY_SUCCESS_FINGERPRINT

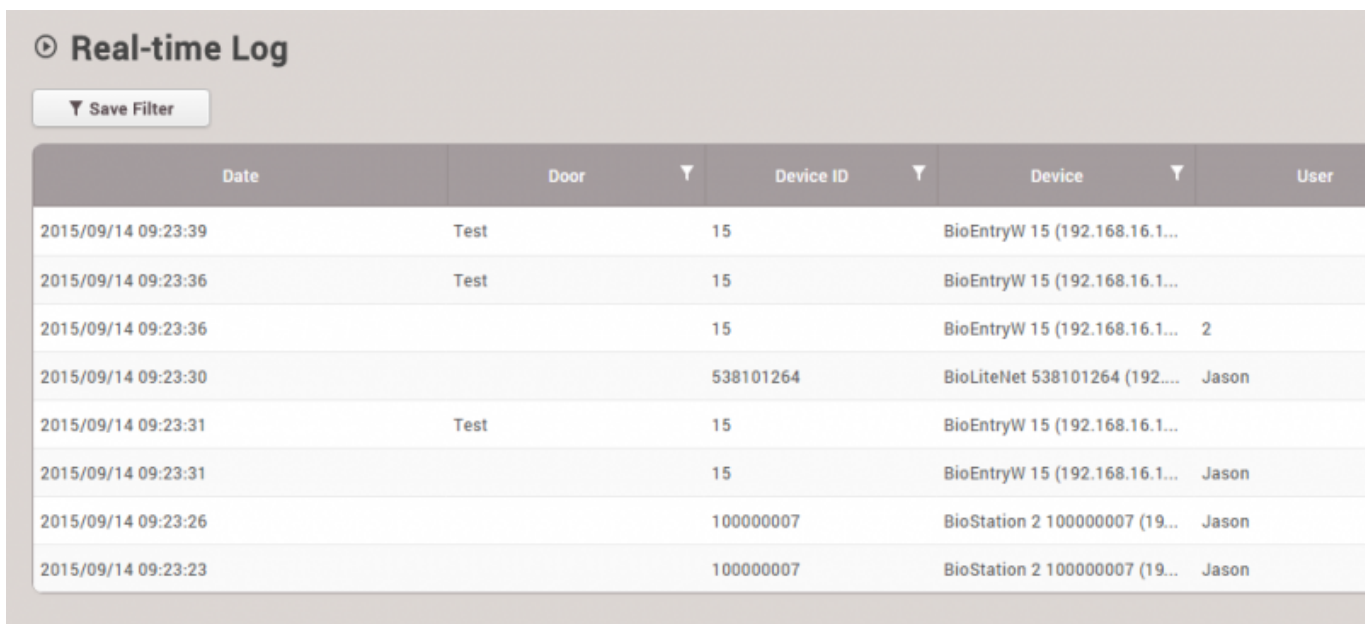
2. フィルタリングの組み合わせを保存して、固定の検索オプションとして参照できます。



リアルタイムログ

リアルタイムでイベントをアップデートして表示します。ただし、イベントを表示するためのページが制限されているため、最新イベントのみ表示されます。

リアルタイムで発生するイベントをモニタリングする目的で使用します。ブラウザで更新を実行すると、表示されたイベントデータが消去されます。



デバイスの状態

デバイスに関連するアラームのイベントや解除オプションとともに、デバイスの状態を表示します。

- デバイスの接続、デバイスレベルのアラームイベント等、デバイスの状態を確認する目的で使用します。
- デバイスアラーム：Supervised Input、タンパー、RS485接続解除、システム初期化

Device Status

Save Filter

<input type="checkbox"/>	Device Name	Device Status	Alarm
<input type="checkbox"/>	BioEntryW 15 (192.168.16.144)	Normal	
<input type="checkbox"/>	BioLiteNet 538101264 (192.168.16.210)	Normal	
<input type="checkbox"/>	BioStation 2 100000007 (192.168.16.205)	Normal	

出入口の状態

リレーの状態や出入口制御オプションとともに、出入口の状態を表示します。

クライアントブラウザでリレーの状態を確認し、出入口を手動で管理して出入口を開閉するための目的で使用します。

出入口制御ボタン

- ロック：出入口リレーをロックし、BioStar
2クライアントで'ロック解除'または'開門'ボタンを押すまで開かないようにします。
- ロック解除：出入口リレーのロックを解除し、BioStar
2クライアントで'ロック'または'開門'ボタンを押すまでロックしたり正常状態にならないようにします。
- 開門：事前に指定された期間、出入口リレーを開きます。
- アラーム解除：強制開門/長時間開門と単一出入口APB
など、出入口関連のアラームイベントを確認し解除します。
- APB初期化：単一出入口のAPB違反や使用者の出入口状態を初期化し、基本の状態にします。
すなわち、使用者が以前の出入口イベントに関係なく出入口を通過できます。

<input checked="" type="checkbox"/>	Door Name	Door Status	Door Relay	Alarm	Last Event
<input checked="" type="checkbox"/>	BS2	Closed	Locked		
<input checked="" type="checkbox"/>	Test	Closed	Locked		

エリア状態

エリア状態と該当アラームのON/OFFオプションを表示します。

エリア状態を確認し、エリア関連アラームを解除するための目的で使用します。

- エリアアラーム：ローカルAPB、火災警報
 エリア状態を使用するには、出入口規制の一般ライセンスが活性化していなければなりません。ブラウザで更新を実行した後に他のメニューに移動すると、最後のイベントがブラウザから消去されます。

1. APB違反のイベントが発生すると、エリアに最後のイベントとともに、APB規則を違反したユーザー名が表示されます。

<input type="checkbox"/>	Type	Zone Name	Active/Inactive	Status	Alarm	Last Event
<input type="checkbox"/>	Anti-passback	APB	Active	Normal		15:24 APB_VIOLATION_HARD - Jason
<input type="checkbox"/>	Fire Alarm	Fire	Active	Normal		

2. APB状態を初期化しなければならない場合には、APBエリアをクリック後、**APB初期化**をクリックしてください。
 APB初期化は、以前の状態に関係なく全ての使用者が出入口を通過できる基本状態にエリアを設定します。将来アップデートされるバージョンでは、個別のAPB初期化がサポートされます。

Type	Zone Name	Active/Inactive	Status	Alarm	Last Event
<input checked="" type="checkbox"/> Anti-passback	APB	Active	Normal		15:24 APB_VIOLATION_HARD - Jason
<input type="checkbox"/> Fire Alarm	Fire	Active	Normal		

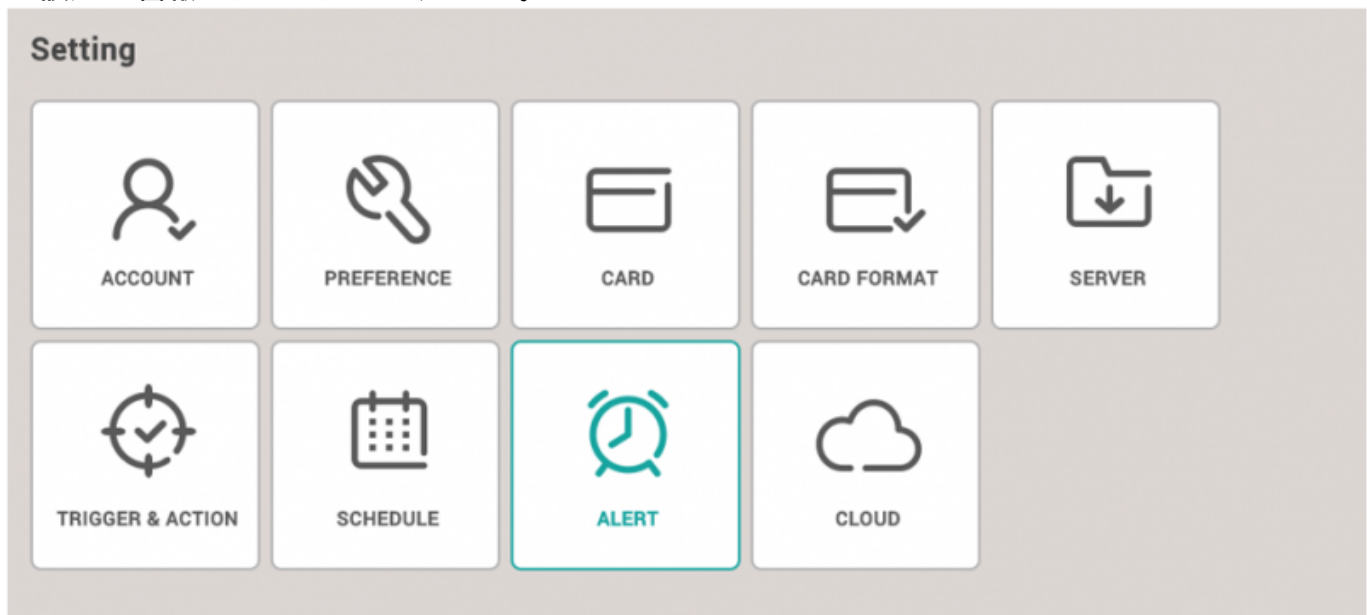
警報履歴

BioStar

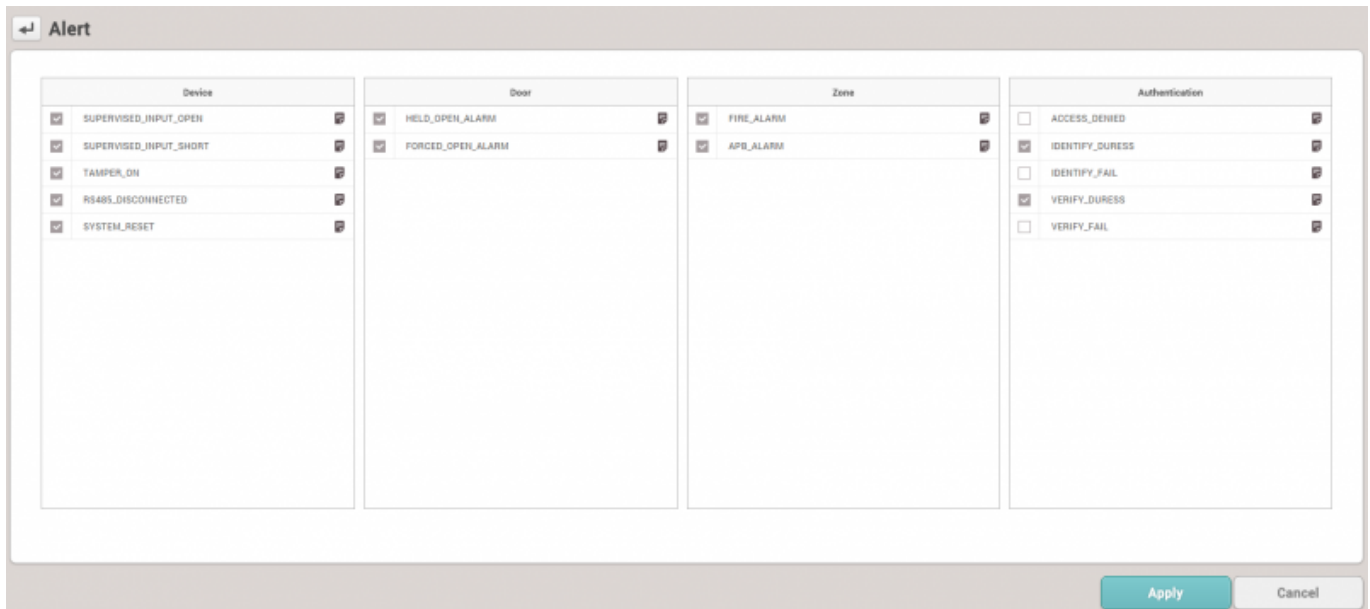
2は、選択した警報イベントを受け取り、後で参照できるようメモを残すことができる確認メモオプションをサポートしています。

過去の警報履歴、そしてアラームイベントを処理するために行った動作を確認する目的で使用します。
警報を受け取るには、グローバル設定で警報をエクスポートするようにイベントを設定しなければなりません。

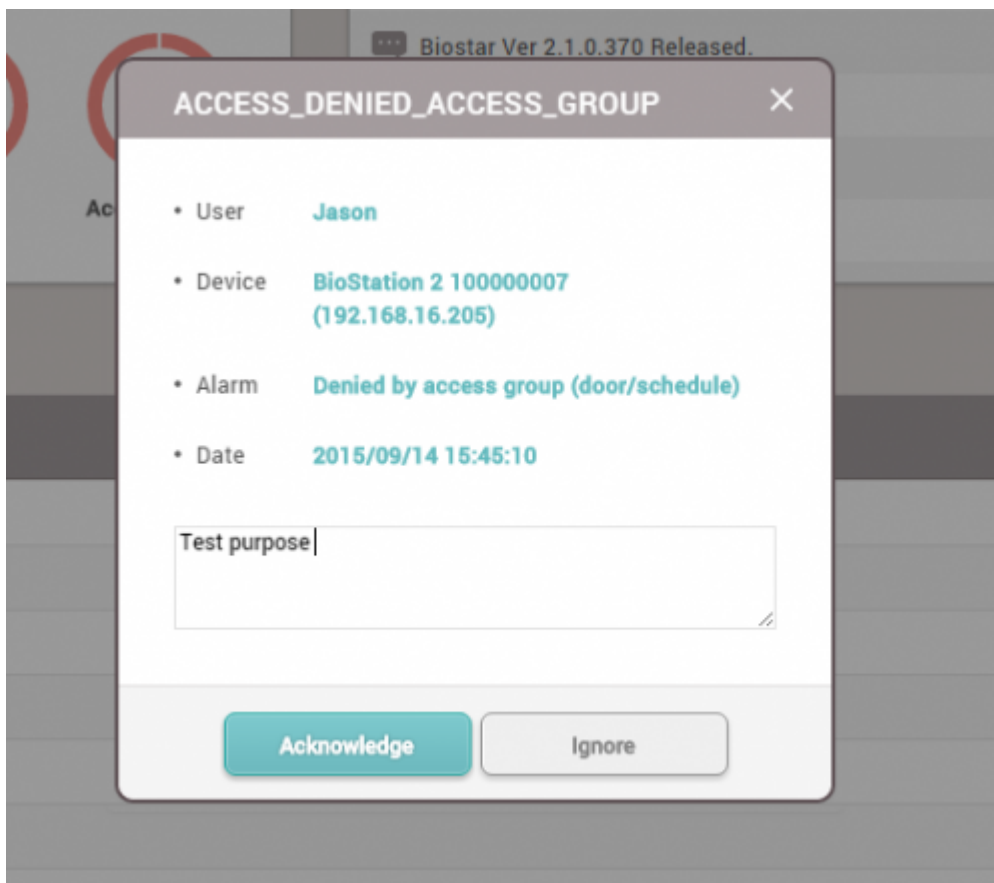
1. 設定 > 警報をクリックしてください。



2. 警報をエクスポートするイベントを表示し、確認をクリックしてください。



3. 警報メッセージボックスを選択し、行った動作をメモセクションに入力します。



4. **モニタリング** > 警報履歴をクリックしてください。状態セクションでメモアイコンをクリックします。このイベントを処理する際に残したメモを確認できます。

Alert History

1-12/12

Save Filter

Date	Device	User	Alarm	Ack. By	Status
2015/09/14 15:45:10	BioStation 2 100000007 (192.168.1...	Jason	ACCESS_DENIED_ACCESS_GROUP	Administrator	2015/09/14 15:47
2015/09/09 16:07:02	BioLiteNet 538101264 (192.168.16...		FORCED_OPEN_ALARM	Adminis	Test purpose
2015/09/07 15:38:28	DoorModule20 100000030		RS485_DISCONNECTED	Adminis	
2015/08/26 14:07:32	BioEntryW 15		IDENTIFY_FAIL_FINGERPRINT	Administrator	
2015/08/06 10:03:13	BioEntryW 15		FIRE_ALARM	Administrator	2015/08/06 10:03
2015/08/06 10:02:55	BioEntryW 15		FIRE_ALARM	Administrator	2015/08/06 10:03
2015/08/06 09:50:32	BioLiteNet 538101264 (192.168.16...		APB_ALARM	Administrator	2015/08/06 09:50
2015/08/06 09:44:34	BioEntryW 15		FIRE_ALARM	Administrator	2015/08/06 09:44

From:

<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:

http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_use_monitoring&rev=1602470606

Last update: **2020/10/12 11:43**